

**令和6年度第2回愛媛県宇和島構想区域
地域医療構想調整会議の開催結果について**

- 1 会議名 令和6年度第2回愛媛県宇和島構想区域地域医療構想調整会議
- 2 開催日時 令和7年1月31日（金曜日） 午後6時30分から午後7時30分まで
- 3 開催場所 市立宇和島病院 2階講堂（Webとのハイブリッド形式での開催）
- 4 出席者 委員20名（うちWeb6名）、
地域医療構想アドバイザー2名（うちWeb2名）、
オブザーバー2名（うちWeb1名）、
随行者12名、事務局7名、説明者3名 計46名
- 5 傍聴者 なし（報道関係者なし）
- 6 議事概要（部分公開）
 - (1) 外来機能報告について
(非公開)
 - (2) 地域医療介護総合確保基金（医療分）事業について
(非公開)
 - (3) 西予市の医療の状況について
 - ア 西予市から、西予市立西予市民病院、西予市立野村病院及び西予市野村介護老人保健施設つくし苑の指定管理移行に伴う「野村病院の無床化」及び「西予市民病院への二次救急集約」のスケジュール等について説明があった。
 - イ 西予市立西予市民病院から、2病院集約後の二次救急医療体制についての説明があり、加えて宇和島圏域の二次救急輪番病院に対し、以下2点の依頼があった。

<依頼事項>

 - ① 野村病院から西予市民病院への入院患者移送日（2/22）は、西予市民病院の救急対応を停止したいので、西予市の救急患者を受け入れてほしい。
 - ② 救急集約後、外科医等の不足により外科系救急が対応できない日が生じるため、現在、八幡浜・大洲圏域内で調整を図っているところである。整わない場合は宇和島圏域に救急患者が流れる可能性があるため、その際は受け入れをお願いしたい。
 - ウ 上記ア、イの説明の後、以下のとおり意見交換等がなされた。
 - ・ 令和4年、西予市立野村病院の輪番日の外科系患者への対応が困難となった際、西予市から、「まずは西予市民病院がファーストタッチをし、対応が困難であれば、八幡浜・大洲圏域の病院、宇和島圏域の二次救急医療機関、市立宇和島病院の順で対応することとする。」との説明がなされたが、昨年、一昨年の救急搬送の実績を見る限り、当初の搬送原則が実践できていないと思われる。その点がルーズになると、当院に搬送される重症患者への対応がひっ迫してしまうことから、まずは搬送原則を守ってほしい。

(根津医師)

- ・西予市の医療の問題について、西予市だけでは対応が難しいと思う。八幡浜・大洲圏域に宇和島圏域も含め、南予全体で考えていく必要があり、今後も、保健所主導の下でメディカルコントロールを調整してほしい。(根津医師)
- ・JCHO宇和島病院においても二次救急に対応できる医師は限られるが、可能な限り西予市に協力したい。(渡部委員)
- ・宇和島徳洲会病院は、救急隊から患者の受入要請があれば、原則、ファーストタッチは行うこととしている。しかしながら、当院には整形外科医がいないので、場合によっては他の救急病院に搬送することになると思う。

(松本委員)

エ 意見交換後、議長から、各関係機関による連携を図り、救急医療体制等の現状、課題等の点検、共有等を行うこと、二次救急医療機関の負担軽減のため、各関係機関それぞれが啓発等について検討することについて提案があり、合意が得られた。

(4) その他

以下のとおり意見交換等がなされた。

- ・前回の調整会議において、看護師が不足し病棟の運営が困難になっているという話題があったが、現在の看護師の入職状況を教えてほしい。また、人材確保のための対策はどうなっているのか。(上甲アドバイザー)
 - ⇒看護師について、毎年一定数の採用をしているが、退職者もおり、病院全体としては減少傾向である。奨学金制度や、住宅費の補助、院内保育、その他の福利厚生も充実していると思うが、それでも市外や県外に看護師が流れている。(伊藤由理委員)
 - ⇒少しでも看護師に宇和島圏域に残ってもらえるよう、行政に看護師給料の増額を訴えたいと思っている。本当に看護師が不足している状態である。(竹田議長)
 - ⇒看護師だけではなく、検査技師や薬剤師等、全てのコメディカルが不足しているという認識も持ってほしい。(善家委員)
 - ⇒市立宇和島病院だけでなく、JCHO宇和島病院や宇和島徳洲会病院も、派遣を受けた看護師を雇用しないと運営が難しい状況となっている。人手が不足し、さらに忙しくなるという悪循環に陥っているので、宇和島市は何らかの支援を検討してほしい。(伊藤由理委員)
- ・西予市の医療は、八幡浜・大洲圏域にも依存するし、今後、宇和島圏域や松山圏域への依存も増えるという感じを受けた。今後の八幡浜・大洲圏域において、高度な医療ができる病院を作ることが必要ではないかと思われるがどうか。(久野アドバイザー)
 - ⇒高度な医療ができる病院を新たに設置することも大切だと思うが、まずは八幡浜・大洲圏域における病院の機能再編を行うことが大切であり、

その後の状況を見て対応する必要があると思われる。また、西予市の救急体制を考えるに当たって、八幡浜・大洲圏域と宇和島圏域の関係者が集まって議論を行う必要があると思われる。（杉山院長）

宇和島保健所
企画課 医療対策係
TEL : 0895-28-6105
FAX : 0895-24-6806